

「ビラ撒き損の」

—修正稿—

2026/08/07

しのめ ののの

〈人物表〉

柴咲 友奈

(20)

アルバイトのイベントスタッフ

柿田 章一

(37)

イベント会社の社員

1. ショッピングモール・外観（昼）

真夏の晴天。セミが鳴いている。
一般的な大型ショッピングモールがあり、周囲は人や車で賑わっている。

2. ショッピングモール内・特設会場（昼）

ショッピングコートとは区切られたイベント会場。
青っぽくライトアップされた、涼しげな空間。

ウォーターサーバーを売る為の、簡素な縁日イベントをしている。親子連れが2組だけ訪れている。

会場にはスタッフTシャツを着た若者が数人。受付をしている者や、親子連れの相手をしている者など。
スタッフTシャツを着た柴咲友奈（20）、笑顔で子どものスーパースーツに付き添っている。

友奈 「わあ、すごい。上手上手。こっちも取れるかな？」

一人の男性スタッフが、汗だくで会場へ入ってくる。
手には当該イベントの宣伝用ビラが数枚。

スタッフ、スーツを着た柿田章一（37）のもとへ。
スタッフ「ビラ配り、戻りました」

柿田、スタッフが持つビラを見て、

柿田 「ええ？ 全然捌けてないじゃん」

スタッフ 「すいません……でも1時間交代って聞いたので……」
柿田 「ったく、いつもこいつも……じゃあ次、そのキミ」

と、友奈へ声を掛ける。

柿田 「交代。1時間ビラ配りね」

友奈 「あ、はい」

柿田 「一束持ってって。ほんと頼むよ？ これぐらい捌いてくれる前提で、キミらんとこの派遣会社頼んでんだから」

友奈 「頑張ります……」

3. ショッピングモール・外（昼）

友奈がモールを出た瞬間、灼熱の太陽が照りつける。
セミが鳴いている。

友奈、暑さに思わず顔をしかめる。

日陰になっている場所へ移動。

ビラの束を手に、配り始める。

友奈

「特設会場でイベントやってまーす。よろしければ是非…」

…特設会場でイベントやってまーす。よろしければ…」

友奈、親子連れを狙って配ろうとするが、スルーされてしまう。

友奈

「特設会場でイベントを…」

と、別の親子連れに渡そうとするがやはりスルー。

×

声掛けと共に差し出されるビラ。スルーする人影。

×

ビラを差し出す友奈。スルーする親子。

友奈、焦った表情で辺りを見回す。

腕時計を見ると、12時20分。

友奈

「あと40分も…」

友奈、来場者の動線に背を向けて俯き、考え込む。
首筋に大粒の汗が流れる。

周囲から、複数の親子の会話が聞こえてくる。

親1

「ゆうくん、暑いから帽子かぶりな」

親2

「ひまり、お水飲まないの？ 熱中症なるよ」

うるさく鳴いていたセミの声が突然やみ、一瞬の静寂が訪れる。

友奈、ひらめいた表情。

気を取り直して動線に向き直る。

向こうから新たな親子連れがやってくる。

友奈、のどの調子を整えてから笑顔を作る。

友奈

「お子さんと一緒に、涼みに来てください」

とゆっくり言いながら、ビラを差し出す。

「お子さん」という言葉に思わず反応した親、流れでビラを受け取る。紙面を一瞥し、会釈して去る。

友奈

「よし……」

友奈、手応えを感じる。

同じ方法で次の親子にもビラを差し出すと、やはり受取ってもらえる。友奈、思わず笑顔。

× × ×

声掛けと共に差し出されるビール。受け取る人の手。

× × ×

友奈、汗だくになりつつも笑顔でビールを渡す。

手元のビールが半分ほどになっている。

× × ×

友奈 「お子さんと一緒に、涼みに来てください」

と、最後の一枚を配り終える。

腕時計を見ると、12時50分。

友奈 「よっしゃあ」

友奈、ショッピングモールの中へ戻っていく。

4. ショッピングモール内・特設会場（昼）

友奈、汗だくでイベント会場へ戻ってくる。

先ほどよりも親子連れが増えている。

友奈、柿田のもとへ向かう。

友奈に気づいた柿田、腕時計を見る。

柿田 「あれ、どうした？ まだ1時間経ってないけど」

友奈 「全部、配り終えました」

柿田 「ほんとに？」

と驚いてから、おもむろに会場を見渡す。

柿田 「ああ……だからか？ 人が増えたの」

柿田、徐々に笑顔になる。

柿田 「へー……やるじゃん。やっとまともな人が現れた」

友奈 「……ありがとうございます」

柿田 「お昼休憩まだだよ？ とりあえず行ってきて」

5. ショッピングモール内・フードコート（昼）

友奈、フードコートの端席で冷やしうどんを食べている。非常に幸せそうな笑顔。

6. ショッピングモール内・特設会場（昼）

昼食を終えた友奈、イベント会場へ戻ってくる。

柿田、別のスーツ女性とこそそ話している。

友奈、受付をしているスタッフに話しかける。
友奈 「お疲れ様です。次、受付担当します」

受付スタッフ、領いて立ち上がろうとする。

と、柿田が友奈に話しかけてくる。

柿田 「ちよつと、そのキミ」

友奈 「？ はい」

柿田 「14時から、またビラ撒き頼むわ」

友奈 「えっ……？ でも、持ち場はローテーションって……」

柿田 「そりゃ運用はその都度変わるよ。現場の指示に従えって
言われてるよね？」

友奈 「……はい」

7. ショッピングモール・外（昼）

友奈、先程とは別の場所でビラを配り続けている。

灼熱の中、汗が大量に吹き出ている。

向こうから、一組の親子が揉めつつ近づいてくる。

子ども 「ねーもうやだー。あーブーいー」

親3 「だから早くお店入ろうって」

子ども 「帰りたいー」

友奈 「お子さんと一緒に、涼みに来て……」

と、最後の一枚を渡す。

親は苦笑いで片手間に受け取り、去る。

友奈、親子を見送ってから腕時計を見る。

14時40分。

8. ショッピングモール内・特設会場（昼）

友奈、汗だくでダラダラと戻ってくる。

親子連れで非常に賑わっている。

柿田、笑顔で迎える。

柿田 「また速かったねー。流石」

友奈 「ありがとうございます……」

柿田 「ちよつと休憩して。ほら」

と、ウォーターサーバーの水が入った紙コップを差し出す。友奈、会釈して勢いよく飲む。

柿田 「……キミ、この後ビラ撒き専任ね」

水分補給していた友奈、思わずむせそうになる。
飲むのをやめ、会場を見回す。

他のスタッフ達、皆涼しげに悠々と仕事している。

友奈 「待ってください、流石に不公平では……」

柿田 「なんで？ みんなも仕事してるよ」

友奈 「いや、でも……外すごい暑くて、あまり長時間は……」

柿田 「派遣元には評価Sで伝えとくからさ。えーっと……名前
なんだっけ？」

友奈 「柴咲です……」

柿田 「柴咲さんね。現場の指示に従えないとなると、派遣元の

方にも……ねえ？ 柴咲さん」

友奈、紙コップを強く握る。コップがひしゃげる。

9. ショッピングモール内・ベンチ（昼）

友奈、野外に出る手前の屋内ベンチに腰掛けている。
おもむろに靴を脱ぎ、足の裏を見る。
可愛い柄の靴下に、穴が空いている。
友奈、悲しげにため息を吐く。

10. ショッピングモール・外（昼）

友奈、死んだ目でビラ配りをしている。

友奈 「お子さんと一緒に、よろしければ……」

と言いながら渡そうとしたところ、相手がやんわり
と拒否する。

親3 「あ、さっき貰ったので……」

友奈 「そうでしたか……失礼しまし……」

友奈、突然ふらついてしゃがみ込む。

親3 「え、大丈夫ですか……？ あの……誰か……！」

と人と呼ぶ声が遠くなる。

11. ショッピングモール・救護室（昼）

友奈、ゆっくりと目を開ける。

救護室の簡易ベッドに寝かされている。

慌てた様子で、柿田が入って来る。

柿田 「大丈夫？ ほんと焦ったよ。無理して倒れられると、困るのこっちだからさ」

友奈 「……」

柿田 「えーっと、柴田さんだっけ？ 落ち着いたら帰って良いよ。今後はあまり無茶せず、体調管理に気をつけて……」
と、忙しなく喋り続ける。

12. ショッピングモール・救護室の外（昼）

数十分後。

荷物を持った友奈、救護室の外に出てくる。

室内に向かって頭を下げ、ゆっくりと歩き出す。

ある程度回復しているものの、本調子ではない様子。と、少し離れた場所から子どもの声。

子ども（声） 「さっきのやつ、楽しかったー」

友奈が目を見ると、先ほど揉めていた親子連れが歩いている。

子どもの手には、友奈が配っていたビラ。

親3 「ね、よかったね」

子ども 「明日もやるかな？」

親3 「明日は来れないよ」

子ども 「えー。行こうよ行こうよー」

親子連れ、賑やかに去っていく。

友奈、ふっと穏やかな笑顔を浮かべる。

笑顔をキープしたまま、おもむろにスマホを取り出して通話する。

友奈 「……お世話になっております、柴咲です。はい。はい。本日お伺いした現場なんですけど……ええ。長時間、外でビラ配りをやらされて……いえ、断ろうとしたんですけど、半ば強制的に……」

おわり